

2022年9月22日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社向陽畜産様の『SDGs宣言』策定を支援しました！

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGsへの取り組みを支援するため「SDGs宣言サポート」を提供しています。今般、株式会社向陽畜産様(北海道紋別市、代表取締役 伊藤 博様)が本サポートを利用し『SDGs宣言』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

1.会社概要

会社名	株式会社 向陽畜産
所在地	紋別市小向788番地10
代表者	代表取締役 伊藤 博
業種	畜産業

2.重点項目



※SDGs宣言の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。



株式会社 向陽畜産 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年9月22日
株式会社 向陽畜産
代表取締役 伊藤 博

SDGsの達成に向けた取組

安心・安全な牛肉の提供

農場HACCP認証牧場として、牧草の全量自社栽培や独自配合飼料など拘り抜いた素材を用い、飼養環境整備と健康管理を徹底することで肉質の向上を図り、お客様に安心で安全な牛肉をお届けしてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・農場HACCP取得
- ・最新自動化機械の導入
- ・独自（自然由来素材使用）の配合飼料開発
- ・堆肥由来による土壌有機物供給の実現
- ・牧草全量の自社栽培化
- ・衛生管理方針に基づく行動



社員（仲間）の豊かな生活の支援

社員は仲間であり、安心して牛と向き合う為にも、健康管理は勿論、社内の風通しを良くするため、社員の多様性にも目を向け、働きやすい職場づくりを心掛けてまいります。また、『社員の成長なくして会社の成長なし』と考え、未来の発展に向けた研修体制や資格取得を支援してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・差別しない体制の構築
- ・定期健診、インフルエンザワクチン接種等の実施
- ・同一労働同一賃金の体制整備
- ・資格取得に向けたサポート体制の確立
- ・外国人労働者への適切な処遇
- ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記
- ・育児、介護休業及び介護復職支援制度の活用促進
- ・食品安全に関する社員研修体制の整備



地域社会への貢献

おが屑敷料(牛の布団)の廃棄ロスを堆肥として近隣農家へ提供し、循環型農業を推進しております。耕作放棄地の積極的な開墾による農地促進や、食育を通して命の尊さ、食文化の大切さを発信することで、地域社会に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・子ども食堂への無償提供
- ・近隣農家への使用済敷料を堆肥として無償提供
- ・地元イベントを介した食育・食文化の提供
- ・離農などによる耕作放棄地の積極的な開墾
- ・未経験者、地元学生等への職場体験受入



未来への発展に向けて

地元根差す企業として、北海道ハーブ牛の「品質」を守り、お客さまの要望に応え続けていけるよう、法令遵守やPDCAサイクルの実践を徹底し、「先がけて挑戦する姿勢」を忘れず、未来への発展に向けて日々努力してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・各現場1名HACCPリーダーを設置した牽制強化
- ・月に1回の外部専門家との意見交換及び研修
- ・BCP策定、定期的な訓練の実施
- ・社員の目標設定及びPCDAサイクルを用いた管理
- ・リスクマップ等を活用したリスクの洗い出し
- ・農場HACCAPに準じた法令遵守と周知徹底



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

